



2021年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年12月15日

上場会社名 株式会社Mマート 上場取引所 東
 コード番号 4380 URL https://www.m-mart.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)村橋 純雄
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理本部長 (氏名)河合 弘一 (TEL) (03) 6811-0124
 四半期報告書提出予定日 2020年12月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第3四半期の業績(2020年2月1日~2020年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	565	11.6	121	16.7	121	16.4	80	10.8
2020年1月期第3四半期	507	4.5	104	1.4	104	13.6	72	14.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第3四半期	16.45	—
2020年1月期第3四半期	14.85	—

(注) 当社は、2020年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」については、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第3四半期	1,400	936	66.9
2020年1月期	1,216	880	72.4

(参考) 自己資本 2021年1月期第3四半期 936百万円 2020年1月期 880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年1月期	—	0.00	—	—	—
2021年1月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年1月期については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。2021年1月期(予想)については、株式分割後の金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2021年1月期期末配当金および年間配当金は20.00円であります。

3. 2021年1月期の業績予想(2020年2月1日~2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	766	11.9	156	6.6	156	6.4	103	5.3	21.17

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」は当該株式分割後の金額を表示しています。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年1月期3Q	4,890,800株	2020年1月期	4,890,800株
2021年1月期3Q	265株	2020年1月期	130株
2021年1月期3Q	4,890,596株	2020年1月期3Q	4,890,682株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、2020年8月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しているため、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自2020年2月1日至2020年10月31日)における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で、1920～30年代の大恐慌以来最悪の同時不況に直面しました。IMF(国際通貨基金)は6月24日発表の経済見通しで、2020年の世界経済の成長率見通しをマイナス4.9%と下方修正し、経済損失は2年間で12.5兆ドル(約1300兆円)と試算しました。

国内においても、日銀が7月1日に発表した6月短観で、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数はマイナス34となり、リーマン危機後の2009年6月以来11年ぶりの低水準でした。また、内閣府が8月17日に発表した2020年4～6月期の実質GDP速報値は、前期比年率換算でマイナス27.8%と戦後最大の落ち込みとなりました。

10月以降に発表になった経済指標には、生産や消費に持ち直しの動きが出てきており、国内景気は「最悪期」を脱した模様ですが、水準はなお低く、本格回復への足取りは重い状況が続いています。

このような事業環境のもと、正常な流通促進を使命とするMマートは、コロナ禍による飲食店の休業等により、高品質にもかかわらず予想外の在庫に悩む卸売業者からの出品を実現させるための「緊急流通促進フェア」の開催に続き、余剰在庫商品を短期間で代金決済し、事業存続のための「手元流動性」を確保することが出来る「即金・即売市場」を緊急開設いたしました。また、感染拡大防止に必要な環境・衛生用品を適正価格で流通させ、医療機関・高齢者施設などに供給が行き届くよう支援するための「環境・衛生フェア」、外食産業の「非接触型」サービスを応援する「テイクアウト・弁当食材・容器フェア」、コロナ・水害時代の複合災害に備えるための「防災フェア」等も、順次開催しました。

なお、これまでのB2B(企業間取引)のサイトに加えて、10月27日より個人・家庭向け卸サイト「C-joy」を開発いたしました。

こうした中、当第3四半期末における出店数は、新人営業員の戦力化が順調に進んだことに加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止で緊急事態宣言が発令され、リアル取引が困難となる中、インターネット取引へのニーズが高まったこともあり、出店型のマーケットプレイス市場であります「Mマート(食材を取扱う市場)」は1,006店(対前年同月比92店増)、「Bnet(食材以外を取扱う市場)」は416店(同198店増)と順調に増加しました。

なお、当第3四半期末における買い手会員数も、169千社(対前年同月比14千社増)と増加しました。新規の買い手会員数は、コロナ禍の中、インターネット取引へのニーズの高まりを主因として、従来の毎月1,000社程度増から一段と増加し、4月以降は毎月1,100～1,400社程度の増加を続けています。

一方、総流通高はコロナ禍の影響で、3,955百万円(対前年同期比350百万円減)となりました。食材関連では、コロナ禍の影響で飲食店やホテル・旅館向け流通高が大きく減少する一方で、スーパー・コンビニ・弁当宅配業者向けの流通高は増加しています。食材以外にも、環境衛生用品(マスク・手袋・消毒液等)やデリバリー容器等の流通高が増加しています。

全体としては、流通高の減少面の方が大きいものの、当社の収益の柱は毎月固定の出店料であることから、当社の業績に大きな影響を与えるまでには至っておりません。

以上の結果、当第3四半期累計期間の営業収益は、出店型サイト「Mマート」や「Bnet」の伸びを主因に、565,801千円(前年同期比11.6%増)となりました。一方、利益面では、人員増に伴う人件費や採用手数料等の営業費用の増加もありましたが、営業利益は121,772千円(前年同期比16.7%増)、経常利益121,864千円(前年同期比16.4%増)、四半期純利益は80,430千円(前年同期比10.8%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、セグメント情報を記載していないため省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の総資産は1,400,360千円となり、前事業年度末に比べて183,674千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が102,077千円、営業未収入金が44,483千円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債につきましては464,157千円となり、前事業年度末に比べ127,791千円増加しました。これは主に、営業未払金が44,483千円、未払法人税等が14,736千円、その他(預り金)が25,426千円、その他(前受金)が35,829千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては936,202千円となり、前事業年度末に比べ55,882千円増加しました。これは主に、利益剰余金が55,977千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月期の業績予想につきましては、2020年3月16日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しているため、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,014,199	1,116,276
売掛金	19,801	24,750
営業未収入金	103,961	148,444
その他	11,367	39,561
貸倒引当金	△3,299	△4,009
流動資産合計	1,146,029	1,325,023
固定資産		
有形固定資産	4,220	9,829
無形固定資産	-	377
投資その他の資産		
敷金及び保証金	58,691	57,886
その他	7,744	7,244
投資その他の資産合計	66,435	65,130
固定資産合計	70,656	75,336
資産合計	1,216,685	1,400,360
負債の部		
流動負債		
営業未払金	103,961	148,444
ポイント引当金	4,944	5,768
未払法人税等	33,519	48,255
その他	193,940	261,688
流動負債合計	336,365	464,157
負債合計	336,365	464,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,619	318,619
資本剰余金	260,782	260,782
利益剰余金	301,116	357,093
自己株式	△197	△293
株主資本合計	880,320	936,202
純資産合計	880,320	936,202
負債純資産合計	1,216,685	1,400,360

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年2月1日 至2019年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年2月1日 至2020年10月31日)
営業収益	507,168	565,801
営業費用	402,790	444,028
営業利益	104,378	121,772
営業外収益		
受取利息	18	22
その他	467	87
営業外収益合計	485	109
営業外費用		
支払利息	123	-
その他	75	17
営業外費用合計	199	17
経常利益	104,664	121,864
税引前四半期純利益	104,664	121,864
法人税、住民税及び事業税	32,048	41,434
法人税等合計	32,048	41,434
四半期純利益	72,616	80,430

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません